

2025年3月期 第1四半期 1Q FY2024 決算概要



2024年8月8日
日揮ホールディングス株式会社

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

目次

- 2025年3月期 第1四半期 実績
- 2025年3月期 予想
- 参考資料



2025年3月期 第1四半期 実績

Enhancing planetary health

ハイライト

- 大型プロジェクトの進捗により前年同期比増収
- 大型低炭素LNGプラント新設プロジェクト（UAE）の契約発効により受注計上
- 通期業績予想に対し順調な滑り出し

連結損益計算書

【億円】

	1Q FY2023	1Q FY2024	前年同期比	
売上高	1,798	2,041	+243	+14%
売上総利益	178	155	△ 22	△ 13%
利益率	9.9%	7.6%	△ 2.3pt	
営業利益	100	81	△ 19	△ 19%
経常利益	177	176	△ 1	△ 1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	102	123	+21	+21%
1株当たり四半期純利益	42.60円	51.28円		

セグメント情報

【億円】

		1Q FY2023	1Q FY2024	前年同期比	
総合エンジニアリング	売上高	1,645	1,882	+236	+14%
	セグメント利益	87	75	△ 12	△ 14%
	利益率	5.3%	4.0%	△ 1.3pt	
機能材製造	売上高	144	149	+5	+4%
	セグメント利益	25	24	△ 2	△ 7%
	利益率	18.0%	16.0%	△ 2.0pt	
その他	売上高	8	9	+1	+13%
	セグメント利益	3	3	△ 0	△ 11%
	利益率	41.4%	32.8%	△ 8.6pt	
調整額	セグメント利益	△ 16	△ 21	△ 5	-

セグメント情報

マーケット環境

・総合エンジニアリング事業

顧客の初期投資額が増加傾向にあるなかで、一部顧客は投資決定タイミングを慎重に判断する動きが出ているものの、天然ガス（LNG含む）やサステナブル分野を中心に顧客の設備投資意欲は旺盛。

・機能材製造事業

触媒分野は、燃料需要の増加などを背景にFCC触媒を中心に国内外で堅調に推移。ファインケミカル分野は、電子材や半導体関連市場に復調の兆し。市況回復に期待。ファインセラミックス分野は、HV・PHV向け高熱伝導窒化ケイ素基板の需要拡大が継続。

セグメント情報

受注の状況（総合エンジニアリング事業）

i）受注高

【億円】

	1Q FY2023	1Q FY2024
海外	149	2,650
国内	603	231
合計	753	2,882

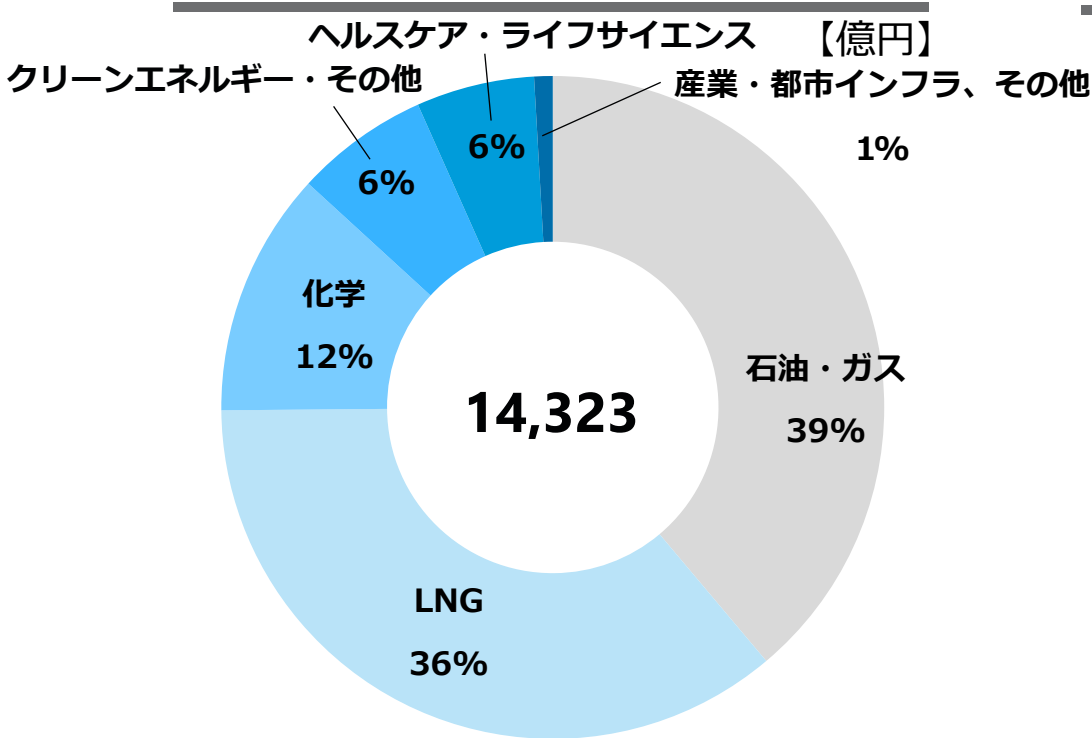
1Q FY2024
主要受注案件

大型低炭素LNGプラント(UAE)

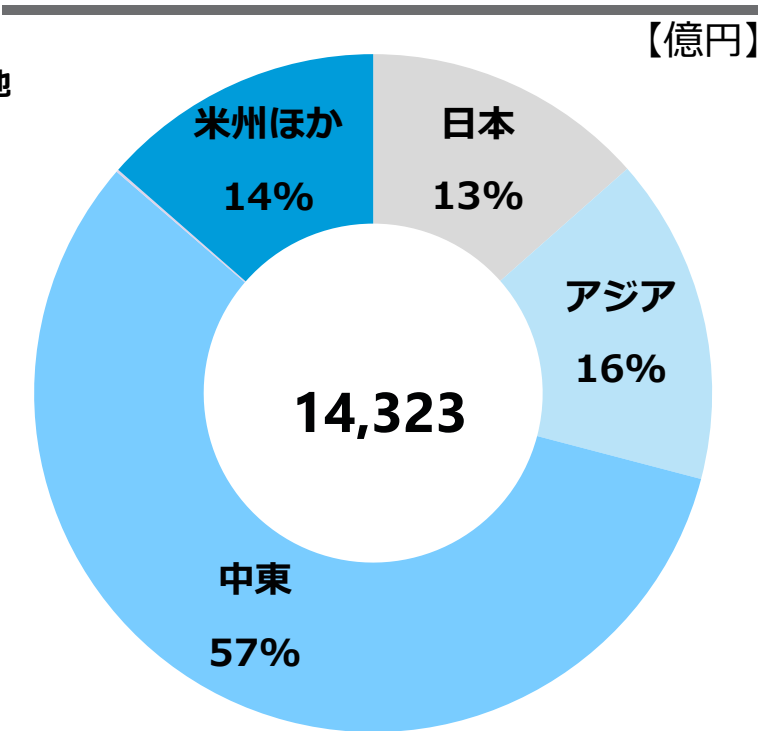
セグメント情報

ii) 受注残高 (2024年6月末)

分野別



地域別



1Q FY2024
受注残高
主要案件

1,000億円以上	500億円以上	300億円以上
大型低炭素LNGプラント(UAE) 原油・ガス分離設備 (サウジアラビア) 製油所近代化 (イラク) ニアショアFLNGプラント (マレーシア) 大型エチレン製造プラント(米国)	LNG (カナダ) NGLプラント増強工事 (サウジアラビア)	LNG受入基地 (台湾) VCM・PVC生産能力増強工事 (タイ) バイオ医薬品及びmRNAワクチン原薬 (国内)

連結財政状態

【億円】

	2024年3月末	2024年6月末	増減
流動資産	6,035	6,325	+290
固定資産	1,887	1,952	+65
総資産	7,922	8,278	+355
流動負債	3,507	3,742	+235
固定負債	536	552	+15
純資産	3,878	3,983	+104
自己資本比率	48.7%	47.9%	△ 0.8pt
JVキャッシュ 当社持分	1,481	1,457	△ 24



2025年3月期 通期予想

Enhancing planetary health

2025年3月期の通期業績予想

通期業績予想に変更はありません。

【億円】			
	FY2024 業績予想	1Q FY2024 実績	進捗率
受注高(※)	9,700	2,882	30%
売上高	8,300	2,041	25%
売上総利益	580	155	27%
利益率	7.0%	7.6%	
営業利益	260	81	31%
経常利益	340	176	52%
親会社株主に帰属する 当期純利益	230	123	53%
1株当たり配当金	40.0円		
換算レート(米ドル)	145.00円		

(※)総合エンジニアリング事業

参考資料

参考（2025年3月期 セグメント別 通期業績予想）

セグメント別通期業績予想に変更はありません。

		【億円】		
		FY2024 業績予想	1Q FY2024 実績	進捗率
総合エンジニアリング	売上高	7,700	1,882	24%
	セグメント利益	260	75	29%
	利益率	3.4%	4.0%	
機能材製造	売上高	520	149	29%
	セグメント利益	70	24	34%
	利益率	13.5%	16.0%	
その他	売上高	80	9	11%
	セグメント利益	20	3	15%
	利益率	25.0%	32.8%	
調整額	セグメント利益	△ 90	△ 21	23%

参考（地域別売上高、受注高）

売上高

【億円】

	1Q FY2023	1Q FY2024
日本	455 (25.3%)	512 (25.1%)
アジア	259 (14.4%)	376 (18.4%)
中東	635 (35.4%)	661 (32.4%)
アフリカ	28 (1.6%)	5 (0.3%)
米州ほか	418 (23.3%)	485 (23.8%)
合計	1,798 (100.0%)	2,041 (100.0%)

受注高（総合エンジニアリング事業）

【億円】

	1Q FY2023	1Q FY2024
日本	603 (80.1%)	231 (8.0%)
アジア	104 (13.9%)	58 (2.0%)
中東	3 (0.5%)	2,598 (90.2%)
アフリカ	18 (2.4%)	3 (0.1%)
米州ほか	23 (3.1%)	△ 9 (△0.3%)
合計	753 (100.0%)	2,882 (100.0%)

参考（地域別、分野別受注残高）

地域別（総合エンジニアリング）

	【億円】	
	1Q FY2024	
日本	1,932	(13.5%)
アジア	2,233	(15.6%)
中東	8,200	(57.3%)
アフリカ	16	(0.1%)
米州ほか	1,941	(13.5%)
合計	14,323	(100.0%)

分野別（総合エンジニアリング）

	【億円】	
	1Q FY2024	
エネルギー・トランジション		
石油・ガス	5,565	(38.9%)
L N G	5,156	(36.0%)
化学	1,710	(11.9%)
クリーンエネルギー・その他	935	(6.5%)
ヘルスケア・ライフサイエンス	826	(5.8%)
産業・都市インフラ、その他	129	(0.9%)
合計	14,323	(100.0%)

参考（1Qの主な取り組み - 総合エンジニアリング事業）

受注目標（9,700億円）達成に向けた営業活動と遂行中案件の着実な遂行を推進

海外

- 日揮グローバルにおいて「利益確保（足元、中期）と実現性が高い案件」、「リソース確保」、「将来の糧」に重点を置いた案件選別を推進。加えて、EPC遂行体制の強化に向けた組織改定（7/1付）を実施。
- エネルギーソリューションズ分野において、UAE向け大型低炭素LNGプラントEPCプロジェクトなどを受注。
- サステナブルソリューションズ分野では、マレーシア向けグリーン水素/MCH製造プラントのFEED（MCHは前年度に受注計上済み）、タイ向けセメント工場の排ガスを利用したCCUプロジェクトのPre-FEEDなどを受注。
- ファシリティソリューションズ分野では、成長市場である先端産業分野において、Exyteシンガポール社との協業を軸に、東南アジアを中心に積極的な営業活動を展開。

国内

- 複数のメンテナンス案件、製油所等の小規模改造工事などを受注。
- 国内における低・脱炭素分野や資源循環分野での案件増加に対応していくため、新たなエンジニアリング拠点設立に向けて長崎県に立地の申し入れを実施。

<低・脱炭素化や循環型社会の実現に向けた取り組み>

- マレーシア天然ガス海上生産設備やブラジルFPSO※向けに、メタン等の温室効果ガス排出量定量化や削減手法検討などのプロジェクトを実施。
- SAF事業向け廃食用油の供給網拡大（飲食店や自治体など）。
- 北海道でペロブスカイト太陽電池の実証試験を開始。

※ 浮体式海洋石油・天然ガス生産貯蔵積出設備

参考（1Qの主な取り組み - 機能材製造事業）

触媒・ファインケミカル分野

- 触媒分野は、燃料需要の増加などを背景にFCC触媒を中心に国内外で堅調に推移し、製品需要も想定通りに推移。定期修繕に伴う交換需要により水素化処理触媒の製品需要が1Qに集中。
- ファインケミカル分野は、電子材や半導体関連市場に復調の兆しが見え始め、FPD向け反射防止材やハードディスク向け研磨材などの製品需要も回復基調に。
- 昨年度取得した北九州および新潟事業所の新規事業用地における設備投資計画を策定中。合成燃料用触媒及びケミカルリサイクル用触媒・吸着材のほか、高速通信用材料や半導体用機能性研磨粒子などの新規ファインケミカル製品の拡大を目指す。

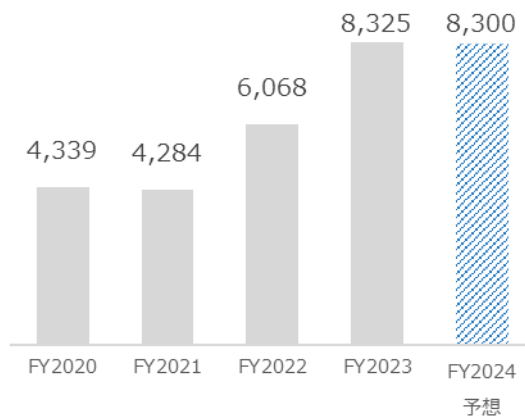
ファインセラミックス分野

- 半導体分野は生成AI向けを中心に回復に向かい、基板等の製品需要が増加。半導体製造装置市場は、市況回復が今年度後半にずれ込む見通し。市況回復に向けた生産計画や体制の見直しを継続。
- HV・PHV向け高熱伝導窒化ケイ素基板の需要拡大は継続。
- 高熱伝導窒化ケイ素基板の増産などに向けて、新工場を宮城県内で建設中。2025年度に本格操業開始を予定。
- 新規事業「骨再生材料リン酸八カルシウム（OCP）」の製品化に注力。

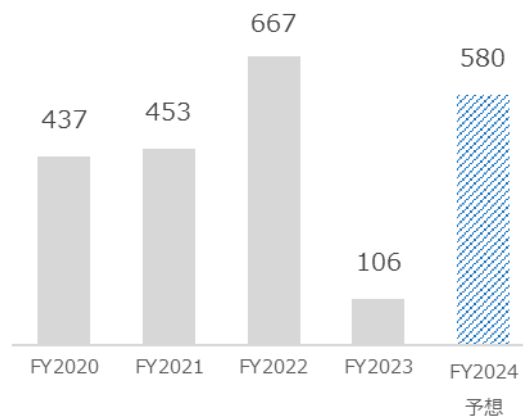
参考（業績推移）

【億円】

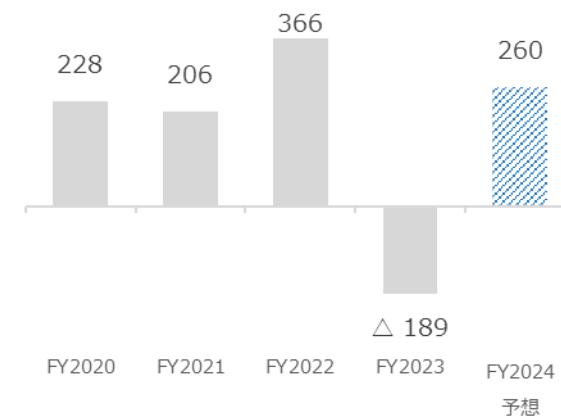
売上高



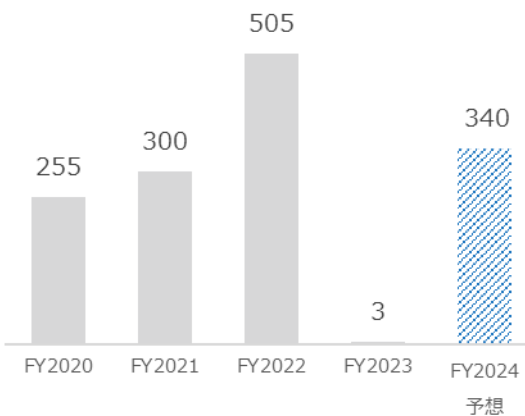
売上総利益



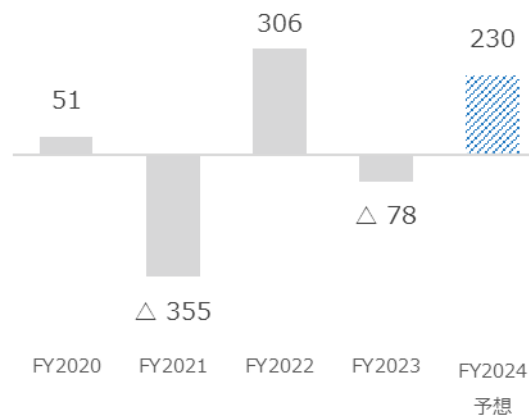
営業利益・損失



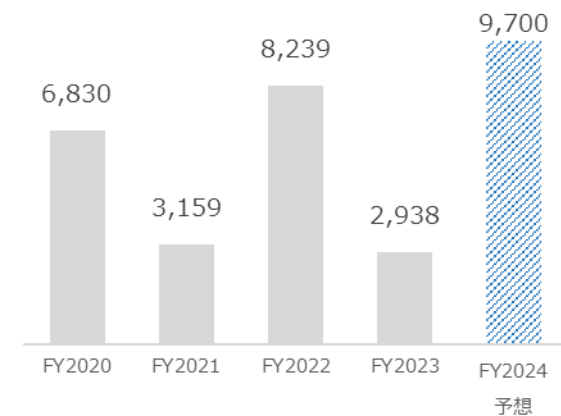
経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失



受注高



将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com